



授業改善に向けての取り組み				
指導方法の工夫	教育課程上の工夫	校内研究の取り組み	評価の工夫	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> 国語では「話すこと聞くこと」「書くこと」の指導の工夫をすすめる。 算数では、基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、問題を理解させる指導の工夫をすすめる。 体験学習を生かす指導の工夫を図り、学習意欲を高める。 年間を通して補習教室を実施し、学習指導講師を活用する。 ICT機器の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 馬二タイム(朝学習)を活用し、学級の実態に合わせて漢字や計算の学習を行う。 特別支援学級と通常の学級との交流を深めるとともに、特別支援教育の充実を図るための研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動・対話的な学びを通して、プログラミング的思考を身に付けさせる。 ICT機器を使ってプログラミング的思考の育成を図る。 児童のICT機器の活用に伴い、教員の技能研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業計画の中の評価の位置付けを明確にする。 評価規準の活用をすすめるとともに、指導計画や児童の実態に合った内容に改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民をはじめとする外部の教育力の活用を一層すすめる。 地域教育連絡協議会の活性化を図り、学校関係者評価の結果を学校運営に生かしていく。 学校支援地域本部(スクールサポート馬二)を活用して地域との連携を深めて教育活動を推進する。